



深い絆

生徒のみなさんへ

● 第75回卒業証書授与式 ●

3月9日、たくさんの保護者の方々に見守られながら、第75回卒業証書授与式が行われました。校庭のあんずの木についた小さな蕾は花びらを開き始め、卒業生の門出をお祝いしているかのようです。コロナの影響から来賓の方々や地域の方々をお招きすることが出来なかったり、在校生の参加も最小限にしたりした中での実施となったことが残念です。しかし、今出来る可能な限りの準備をして、3年生の皆さんを送り出してあげたいと、在校生の皆さんと職員とで力を合わせ、式場の準備や教室、校内の清掃、飾りつけなどを心を込めて行いました。これまで3年生の想いを受け取った皆さんの誠意や思いやり、感謝の気持ちが伝わってくるような素晴らしい準備でした。



写真左：美しく飾られた3年生ホームベイ壁面。大空へ一斉に舞い上がるたくさんの蝶たち。これから新しい世界へ元気に羽ばたいてほしいとの願いが込められています。写真右：渡り廊下の天井には、色とりどりの美しい花々がたくさん舞っています。



写真左：保護者の方の気持ちを思い、体育館の椅子を一系乱れず完璧に並べる2年生の皆さん。写真中央：爽やかな気持ちでここを通ってもらえるよう綺麗に磨き上げよう！写真右：3年生がにこやかになる絵を描こう！と心を尽くす1年生の皆さん。

式中の送辞では、在校生代表として〇〇生徒会副会長が「(体育大会集団演技の様子)3年生の皆さんが集団で一つの作品を創り上げる姿は、努力し続けることが結果につながるということや、改めて『団結』の意味を教えてくださいました。」「先輩方が築いてこられた伝統を私たちが継承していきます。先輩方の母校である熊西中学校がより良くなるようこれからも努力し続けることを誓います。」と、3年生の姿から学んだことや、これからの決意を力強く述べました。続く答辞では、卒業生代表として〇〇前生徒会長が「巷では私たちのことをコロナ世代とも言うそうです。3年間、満足のいく行事が行えなかった中、多くの試練を乗り越えてきた私たちならば、ネモフィラ(花言葉は『どこでも成功』)の花のように、どこでも成功を収めることができるでしょう。これからもこの3年間で



写真中央：しっかりと先輩方の目を見て、気持ちを込めて堂々と送辞を述べる〇〇生徒会副会長。写真右：さまざまな花言葉を自分たちの姿に重ね合わせながら、これまでの成長を振り返り、これから力強く旅立つ決意を述べる〇〇前生徒会長。

学んだことを活かし、私たちのなりたい自分へと成長していきます。」と、これまでの3年間の取組に思いを馳せながら、これからも成長し続けることをしっかりと宣言しました。



写真：3年間の中学校生活の中で、最初で最後の学年合唱。練習も十分に出来ないまま本番を迎えましたが、それを感じさせない3年生の歌唱力がありました。深い絆を感じます。指揮は「校歌」〇〇さん、「旅立ちの日に」〇〇さん、伴奏は〇〇さん。

式終了後には、学年合唱として「校歌」と「旅立ちの日に」が披露されました。取組はこれまで、コロナの影響から全員で行なえたのはほんの数回でした。また、マスク越しであることや間隔を大きく取らなければならないので、ハーモニーを創り上げることはとても難しいものでした。それらたくさんの制限があったにもかかわらず、3年生の歌声は、迫力のある美しいハーモニーが奏でられました。3年生のこれまでの想いや大きな絆などが感じられる、大変素晴らしい合唱でした。



最後の学活では、卒業生一人一人が友人、先生、家族に向けて言葉を贈ったり、自分自身について語ったりと、どの学級も笑いあり涙あり、心地よい温かな雰囲気にも包まれた心に残る充実した時間を過ごせていました。

これまで、三年生を送る会の準備や運営、プレゼントづくり、体育館の準備、校舎内外の徹底した清掃、教室の飾りつけなどを、自分のことのように熱心に取り組んだ在校生の皆さんと、式当日まで準備や手伝い、参加など、一生懸命に式を支えてくれた生徒会と放送部の皆さんに心から感謝します。きっと、これまでの3年生のさまざまな想いをしっかり受け止めていたからこそその行動だったと思います。おかげで、参列者全員の心に、素晴らしい記憶としていつまでも残る卒業式になりました。本当にありがとうございました。